

丸子 まちづくりだより

令和7年 / 2025. 2. 16 発行

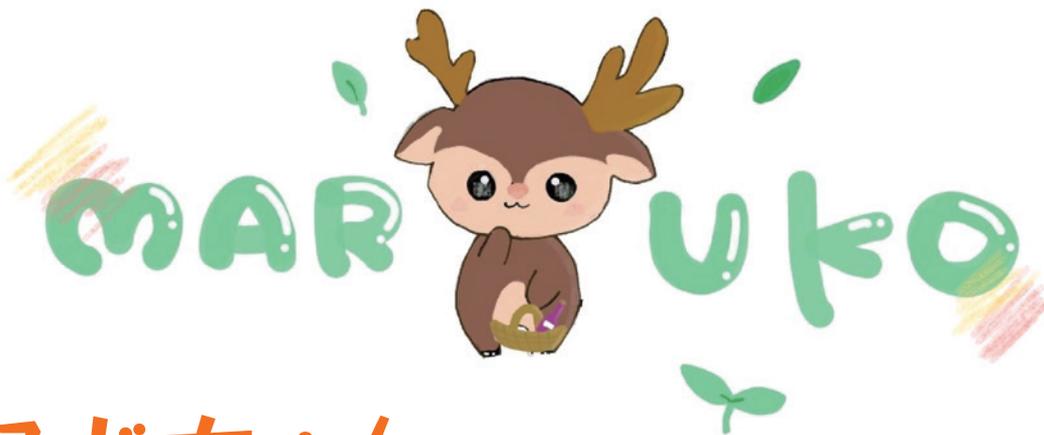
発行 ● 丸子まちづくり会議 TEL・FAX 75-1061

〒386-0404 上田市上丸子950 丸子ファーストビル1F

E-mail info@maruko-mkueda.jp

印刷 ● (有)大和印刷

第25号



もみじちゃん

丸子まちづくり会議 マスコット・キャラクター

丸子まちづくり会議のマスコット・キャラクターとして「もみじちゃん」を採用することが決まりました!! 丸子中学校の1年生～3年生が実施する「総合学習」では、1年生は「地域の宝」、2年生は「職場体験学習」、3年生は「地域の未来」という「地域の魅力を再確認」し「地域の魅力を再発信」へと繋がるテーマとしています。この学習方式は、机に向かって勉強するだけでなく、学校から外に出て生徒たちの目線で広く地域を見て回ろう!との主旨のもと、いくつかのグループに分かれて活動(実地見学や調査)し、その中で生徒たちが感じたことを発表しあって理解を深めていこうというものです。

(丸子中学校ホームページにも記載されています。http://www.school.umic.jp/maruko)

「地域の未来」というテーマは、丸子まちづくり会議が行う活動と共通したテーマとなっています。3年生の「ゆるキャラグループ」4名(塚原朔弥さん・三井凰聖さん・青木美優さん・松田千愛さん)により作られた「もみじちゃん」を丸子まちづくり会議のマスコット・キャラクターとして採用することで、「もみじちゃん」と共に丸子のまちづくりを広めていこう!!と考えました。今後、丸子まちづくり会議が行う活動に、ゆるキャラ「もみじちゃん」が付けられていくことになります。どうぞ皆さま、可愛がってください。

「もみじちゃん」の紹介

- 子鹿の女の子
- 左手に持ったバスケットの中には、飲み物とおやきが入っている
- 温泉に入るのが癒やし
- 好きな音楽は意外とロック系らしい

画像生成 AI を用いて作成 ▶



丸子まちづくり会議で「もみじちゃん」を専属のキャラクターとして採用するにあたり

- Googleのゆるキャラグランプリにて、似通ったものがないことを確認済みです。
- 丸子中学校の小山校長先生と指導をされた矢島先生立会いのもと、製作者4名の方の了承を得て、専属キャラクターの採用を承諾していただいています。

塩川地区防災コア人材育成プロジェクト



地域住民参加にて実施 今後の地震・水害等の発災に向けて・・・

塩川地区防災コア人材育成プロジェクトは、事前に塩川地区の皆さんから発災時の対応研修を行いたいとの強い要望があり、丸子まちづくり会議防災部会と上田市防災士等連絡協議会にて概要と研修内容を企画立案し、上田市危機管理防災課及び丸子自治センター地域振興課の協力を得て、令和6年6月15日にスタートしました。

第1回はキックオフ研修会として、長野県自主防災アドバイザーの西藤直義氏による『丸子地区の地形と危険性について』の講演と、地域の危険個所等の把握を行う為の準備や方法について研修しました。

第2回は、7月21日に『地域を知ろう・危険個所・役に立つもの』と題して事前にハザードマップを確認し、特に石井地区を4区分してマップ片手に実際に歩き、危険個所・自販機・消火栓や日頃目にしない細部まで、現地確認を行いました。その後、塩川コミュニティセンターへ戻り、上田市消防団第六方面隊第六分団若下貴文団長より、令和元年台風19号の切迫した状況等をお話いただきました。

第3回は、9月21日、前回にて現地視察した内容を、ハザードマップを広げて更に確認しました。小河川・氾濫地域・危険個所・自販機・公衆電話・避難場所等の詳細をマップに落とし込み、現場写真等を貼付けて目で見える環境を作り上げました。

第4回は、10月19日に避難所開設訓練を行いました。塩川小学校にて、校庭の車両駐車位置と形態及び体育館のフロア割りを行い、避難者スペースと各運営担当者との区分け等、事前に必要な部分を先行線引きし、防災倉庫も含め参加者を交えての運用対応を行いました。



第3回 ハザードマップの確認



第4回 避難所開設訓練

研修は4回にて終了の予定でしたが、地区会議や参加者の皆さんから更に研修をしたいとの声があがりました。11月10日、追加研修として西藤アドバイザーに『防災の理念』で『災害は必ず起こる』『知る事・見つける事・話し合う事』等、災害発生に立ち向かう姿勢について講演していただきました。

参加者の皆さんからは、今後も更に研修を続けて行きたい、避難訓練等も研修したい、との声が多く聞かれました。



「子どもの明日を考える」第6回 まちづくりセミナー

令和6年12月12日(木)／丸子文化会館 小ホール／主催：丸子まちづくり会議／共催：丸子地域教育事務所・丸子公民館



はやさか じゅん
講師 早坂 淳氏

長野大学社会福祉学部
社会福祉学科教授
長野県教育委員会
信州型コミュニティスクール
アドバイザー

「地域も学校も一緒に子どもを育てよう」～コミュニティスクールとまちづくり～

シリーズ「子どもの明日を考える」第6回まちづくりセミナーを開催しました。講師に長野大学の早坂淳教授をお迎えし、ファシリテーター（進行役）には長野大学の学生が加わりました。今回も小・中学生に参加していただき、世代を超えた交流の中で活気あふれる話し合いができました。

初めに、早坂先生から今回のセミナーのテーマ「つながりをつくる～対話で紡ぐ地域の絆～」の話題提供がなされました。今回は、「対話」について考え、インドの昔話の例えから対話の可能性・課題等について、各グループで活発な話し合いが行われました。

キーワードは「熟慮と議論」。「熟議」の4つのポイントは、①共有 ②協働 ③対立 ④愉しむ。



その中で「求同尊異」というお話がありました。これは、「同じものを求めて目標やビジョンが共有されているのであれば、違いを尊ぶべきだ。自分と違う人を無条件で認めていくことは人間にとって簡単なことではないが、ここしかない。それができるかもしれない制度がコミュニティスクール（CS）として存在している。上田市は、小中学校35校中、2校が文部科学省型、それ以外が信州型のCSで回っている。このCSをアップデートする時期が来ているのかもしれない。CSのアップデートというよりも、私たちの地域にある民主主義をアップデートすることだと思う。CSはいろいろな人を同じテーブルにつけるための仕組み。校長先生、教頭先生、ここに地域の方も同じようにテーブルに座っていこう、地域の学校を皆で作っていこう、というのがCSの理念。熟議を通して皆で市民（大人）になっていく、その時の手段の一つとしてCSが使えるとよいか、と思っている。市民とは、自分の大事さと皆の大事さが融合している人です。」と早坂先生は話されました。

最後に、今日の話から今後こんなことをやってみない？という次の動きになるのがとても素敵です、と結ばれました。今回の内容を、みんなが自分のできることから実践に繋げてゆければ、と思います。



フリーWi-Fi
つかえます

給湯器あります



丸子テレビ放送 チャンネル12 デジタル121 ch

「あった! まるこ!」 放送中

丸子まちづくり会議の活動や、イベント情報等を放送しています。
丸子まちづくり会議を身近に感じてもらえる番組です。ぜひ、ご覧ください!

放送時間

毎週火曜日放送予定

6:30 ~ 8:30 ~ 12:30 ~ 18:45 ~ 21:45 ~ 各回15分



ただいま展示中

丸子中学校3学年 総合的な学習の時間

「地域の未来を考えよう」
～地域を発信する～



依田川リバーフロント 市民協働事業実行委員会 川の絵・川の写真展

2月28日(金)15:00 まで



あったまるこの利用活性化

～子ども向けイベントを通して～



丸子修学館高校3年生が、総合学習で「あったまるこの利用活性化」について研究し、令和6年10月26日、11月23日にイベントを開催しました。

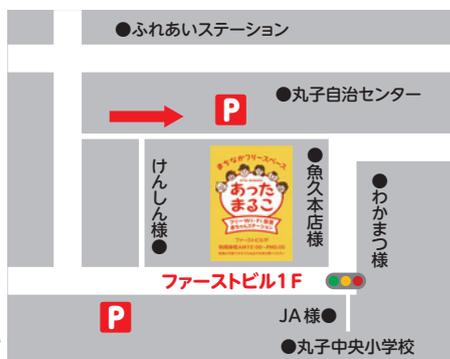
サポーター募集中

まちづくり会議に興味のある方やお手伝いをしていただける方を募集中です。

サポーターの方には、次のことを
できる範囲でお願いしています。

- ・住みよいまちづくりのための提案
- ・得意なことを生かした活動等

お問い合わせは事務局まで。
(月～金 9:00～16:00)



ご意見・ご要望などどしどしお寄せください

TEL・FAX 0268-75-1061

【メールアドレス】 info@maruko-mkueda.jp

【ホームページ】 <http://maruko-mkueda.jp>



丸子まちづくり会議

検索